

## 納付金・医療費は昨年減少から一転、以前の増加傾向に!

7 月 19 日に「第 149 回 ダイフク健康保険組合 組合会」が開催され、2023 年度収支決算が決定されましたので、概要をお知らせします。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

健保組合を取り巻く情勢は、高齢者医療への過重な拠出金負担の増加と現役世代の減少などにより、極めて厳しい状況が続いています。

また、現行保険証廃止に向けたマイナ保険証への一体化や事務取扱いなど医療 D X を担う主要機関の一つとして鋭意取り組んでいます。

当年度において、全国の健保組合 1,379 組合のうち、約 86.6%の組合が赤字となっており、保険料収入に対する義務的経費（医療費 + 納付金等拠出金）の割合 50%超の組合は 239 組合、40%超の組合は 928 組合となり全体の約 67.3%に昇ります。

当健保組合においては、一般保険料率を前年度同率の 9.0%としましたが、ダイフクの業績好調などにより前年度を上回る保険料収入となりました。支出では、新型コロナウイルス感染症対策による影響も少なくなってきたおり、胃検診や歯科健診の実施、健康づくりイベントや家族向け健診など人数も徐々に増えてきていますが、納付金等拠出金の支出がコロナ禍前を大きく上回り、保険料収入に占める負担割合は約 38.3%となり、医療費負担である保険給付費（約 43.7%）と併せた義務的経費だけで保険料収入の約 82.0%を占めています。経常収支差引では前年度より約 3.0 億円減の約 4.3 億円の黒字となりました。

また、介護収支につきましては介護納付金も若干増加傾向にありますが、介護保険料率を前年度同率の 2.0%とし、保険料 - 納付金差引では前年度より約 8 百万円増の約 82 百万円の黒字となりました。

今後、賃上げによる収入増が期待されるものの、団塊世代の後期高齢者入りと現役世代の減少に伴い納付金等拠出金は急増することが予想されます。

健保運営としては、黒字でありながら先行きの見えない厳しい状況が続きますが、目の前の対策だけにとらわれず、従業員皆さんの健康を意識し、医療費削減につながるような保健事業を展開していきます。

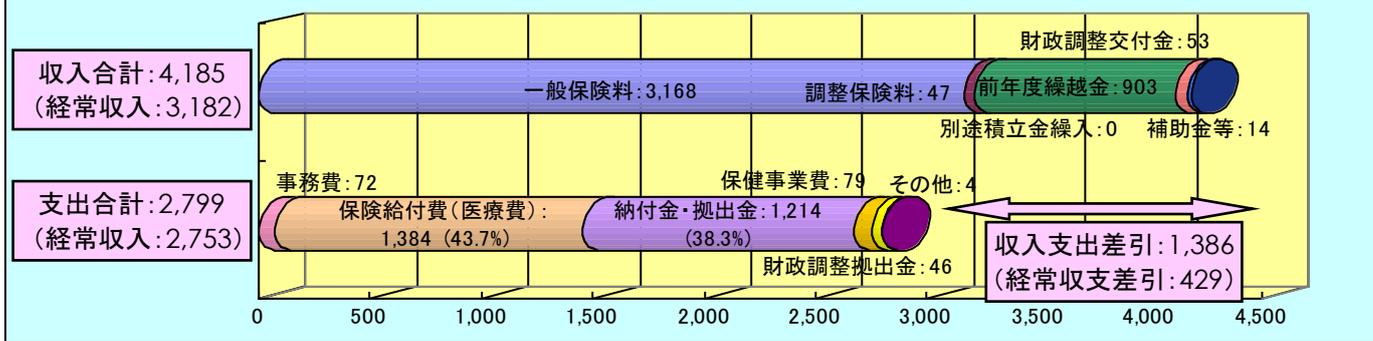
## &lt; 収入の状況 &gt;

被保険者数は前年度より 100 人増の 4,720 人、被扶養者は前年度より 45 人減の 4,481 人、平均標準報酬月額額は前年度より 402 円増の 431,385 円となり、経常収入では前年度より約 1.1 億円増の約 31.8 億円となりました。

## &lt; 支出の状況 &gt;

保険給付費（医療費）は前年度より約 1.6 億円増の約 13.8 億円、納付金等拠出金は前年度より約 2.4 億円増の約 12.1 億円、保健事業費は前年度より約 2 百万円減の約 79 百万円となり、経常支出では前年度より約 4.1 億円増の約 27.5 億円となりました。

【2023年度 収支決算の状況(一般)】 (単位:百万円)



【収支科目別決算額(一般)】 (百万円)

<収入>	2022年度	2023年度	対前年度増減
一般保険料	3,064	3,168	104
調整保険料	45	47	2
前年度繰越金	672	903	231
別途積立金繰入	0	0	0
財政調整交付金等	52	53	1
補助金等	10	14	4
(収入合計)	3,843	4,185	342
経常収入額	3,074	3,182	108

\* カッコ内は一般保険料収入に占める割合

<支出>	2022年度	2023年度	対前年度増減
事務費	68 *(2.2%)	72 *(2.3%)	4
保険給付費(医療費)	1,221 *(39.8%)	1,384 *(43.7%)	163
納付金等 拠出金	973 *(31.8%)	1,214 *(38.3%)	241
保健事業費	81 *(2.6%)	79 *(2.5%)	▲2
財政調整 拠出金	75	46	▲29
その他	2	4	2
(支出合計)	2,420	2,799	379
経常支出額	2,345	2,753	408

<収支差引額>	2022年度	2023年度	対前年度増減
(収支差引)	1,423	※1 1,386	▲37
経常収支差引	729	429	▲300

※1 別途積立金に 4億10百万円を計上し、2024年度に 約9億76百万円を繰り越しました。

【収支科目別決算額(介護)】 (百万円)

<収入>	2022年度	2023年度	対前年度増減
介護保険料	466	475	9
その他	206	245	39
(収入合計)	672	720	48

<支出>	2022年度	2023年度	対前年度増減
介護納付金	392	393	1
その他	30	0	▲30
(支出合計)	422	393	▲29

<収支差引額>	2022年度	2023年度	対前年度増減
(収支差引)	250	※2 327	77
保険料-納付金差引	74	82	8

※2 法定準備金は計上せず、2024年度に 約3億27百万円を繰り越しました。

※健保の保健事業の詳細については、「ダイフク健保ホームページ」(下記アドレス)より、「健康づくりのための事業」項目をご覧ください。

<https://www.daifuku-kenpo.or.jp/>